

建設の機械化

1996.12

No.562



- ◆巻頭言 生産性向上を担う建設機械に期待して……………橋 本 鋼太郎 1
異形断面シールド工法による共同溝建設
—小田井山田共同溝シールド—……………山 口 豊・押 谷 則 夫 3

グラビヤ—異形断面シールド工法による共同溝建設

- 最新の山岳トンネル技術と機械化施工
—第二東名大断面トンネルの掘削技術と施工を中心として—……岡 崎 登 13
全自動セグメント搬送・供給システム
……………児 玉 大三郎・風 間 慶 三・富 岡 彰 21
タワークレーン自動運転システム
……………岸 光 輝・植 木 睦 央・佐 藤 竜 郎 27
リニアドライブ方式ドロップタワーの開発
……………森 正 人・酒 井 佳 人 31
油圧駆動ピストン式浚渫軟弱土圧送装置……………吉 田 政 美 36
◆ずいそう ストレスに想う……………細 谷 隆 40
◆ずいそう 年末雑感と県民性……………多 田 義 金 42
小型移動式エレベータの開発と現場適用
……………野 村 肇・佐 藤 成 美・大 嶋 茂 樹 44
平成8年度建設機械と施工法シンポジウム…………… 49
◆わが工場 カヤバ工業株式会社 熊谷工場……………井 上 雄 介 58
◆部会報告 排出ガス対策型ディーゼルエンジンの概要と点検、整備（その2）
—点検、整備のポイント—……………整 備 部 会 62



◆トピックス	低騒音型建設機械の指定および低振動型建設機械指定制度の発足……	66
◆新工法紹介	04-138 硬岩掘削機 (TRY) によるトンネル掘削工法/ 04-139 トンネルずり搬送コンベアシステム/04-140 垂直コンベアを利用した連続揚土システム/11-48 FITS (フィッツ) 工法 (アラミド繊維シートによるコンクリート構造物の補強工法) ……	調査部会 71
◆新機種紹介	……	調査部会 75
◆建設機械化研究所抄報 (155)	……	79
◆統計	建設工事受注額・建設機械受注額の推移 ……	調査部会 81
行事一覧	……	82
編集後記	……(中谷・高橋)	86
平成8年1月~12月号既刊目次一覧	……	(1)

◇表紙写真説明◇

三菱コンクリートポンプ車
ダイヤクリート L 1100 BD-M 33 型

三菱重工業株式会社

コンクリートポンプ車は建設工事の大型化とともに発展を遂げこのほど新発売された DC-L 1100 BD-M 33 型は地上高約 33 m の M 型×4 段屈折ブームを搭載し当社永年の開発テーマであった「人間と環境に優しく」を実現した 21 世紀のコンクリートポンプ車です。

●DC-L 1100 BD-M 33 の特徴

1. 12 ton ショートホイールベースシャシに地上高

33 m×4 段 M 型屈折ブームを搭載し建造物の奥や狭い場所にも届き配管接続作業より開放されました。

2. アウトリガー張出し幅 7.4 m とこのクラスとしては狭く地下コンクリート打設工事では作業構台 (8 m) 上に楽々設置可能です。
3. コンクリート輸送パイプはブーム屈折箇所でも左右に貫通させたためブームのねじれや振動が大幅に軽減されました。
4. コンクリートバルブは既にご好評を頂いている「ダイヤクリートバルブ」を採用しており、低騒音でしかも残コンクリートがほとんど出ず、産廃処理を必要としません。

《主な仕様》

() 内高圧仕様時

- 最大吐出量: 110 m³/h (70 m³/h)
- 最大吐出圧: 50 kg/cm² (76 kg/cm²)
- ブーム地上高: 32.6 m×4 段 M 型屈折ブーム
- アウトリガー張出し幅: 前後共 7.4 m
- 搭載シャシ: 三菱 KC-FV 419 PZ 355 PS 12 ton 車
- 走行時寸法 L×W×H: 11,200×2,480×3,620 mm
- 総重量: 21,885 kg